

第3章 調査結果の分析

3-1. 投票参加の状況と要因

(1) 今回の投票・投票履歴・市議会議員選挙への関心

市議会議員選挙の投票状況(Q5)

		回収数	投票した	投票しなかった	無回答
全体		1128	73.5	11.3	15.2
市議選への関心度別	非常に関心を持った	378	83.6	3.7	12.7
	多少は関心を持った	456	77.4	10.1	12.5
	あまり関心を持たなかった	171	65.5	21.1	13.5
	全く関心を持たなかった	36	41.7	52.8	5.6
	どちらともいえない	41	61.0	22.0	17.1
	無回答	46	17.4	6.5	76.1
これまでの投票状況別	かならず投票している	650	80.8	2.3	16.9
	だいたい投票している	353	73.9	14.2	11.9
	あまり投票していない	70	28.6	61.4	10.0
	投票したことがない	12	16.7	75.0	8.3
	今回はじめて有権者になった	8	62.5	12.5	25.0
	答えたくない	10	40.0	40.0	20.0
	無回答	25	48.0	20.0	32.0

- ・まず、回答者の投票率（73.5%）が実際（52.18%）よりも高い点に注意する必要がある。実際には、回答しなかった人に棄権者がより多く含まれている可能性が考えられる。以下では、この点を念頭において分析する必要がある。
- ・全般的に、今回の選挙に関心を持つ人ほど投票によく行ったこと、また、過去によく投票に行っている人ほど今回も行ったことが指摘できる。さらに、過去の投票履歴の多少と今回の選挙への関心は連動している。今回の選挙は、特に例外的なものではなく、従来どおりの参加パターンであったと考えられる。

(2) 社会属性等からみた投票参加

市議会議員選挙の投票状況(Q5)

これまでの投票状況(Q24)

		回収数	投票した	投票しなかった	無回答	かならず投票している	だいたい投票している	あまり投票していない	投票したことがない	今回はじめて有権者になった	答えたくない	無回答
全体		1128	73.5	11.3	15.2	57.6	31.3	6.2	1.1	0.7	0.9	2.2
性別	男性	551	74.4	10.2	15.4	60.4	30.1	5.1	0.9	0.7	0.7	2.0
	女性	543	73.3	12.3	14.4	55.4	33.3	7.6	1.3	0.7	1.1	0.6
	無回答	34	61.8	11.8	26.5	47.1	17.6	2.9	0.0	0.0	0.0	32.4
年齢別	18歳	3	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	66.7	0.0	0.0
	19歳	3	100.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0
	20~24歳	21	52.4	38.1	9.5	33.3	28.6	14.3	9.5	9.5	4.8	0.0
	25~29歳	19	68.4	26.3	5.3	26.3	57.9	5.3	5.3	0.0	5.3	0.0
	30~39歳	81	80.2	17.3	2.5	37.0	44.4	12.3	3.7	0.0	1.2	1.2
	40~49歳	132	78.0	14.4	7.6	42.4	43.2	9.8	2.3	0.0	1.5	0.8
	50~59歳	181	76.8	13.8	9.4	48.6	38.7	9.9	0.0	0.6	0.0	2.2
	60~69歳	248	73.4	9.7	16.9	62.5	29.4	6.0	0.0	0.4	0.4	1.2
	70歳以上	410	71.5	6.8	21.7	72.0	22.9	2.2	0.5	0.0	1.0	1.5
	無回答	30	63.3	10.0	26.7	43.3	20.0	3.3	0.0	0.0	0.0	33.3
職業別	自営業主およびその家族従事者	183	77.6	10.9	11.5	59.6	31.7	6.0	0.5	1.1	0.0	1.1
	公務員、教員	23	82.6	4.3	13.0	52.2	26.1	0.0	0.0	8.7	4.3	8.7
	民間会社勤務・事務	125	82.4	9.6	8.0	53.6	36.8	6.4	1.6	0.0	1.6	0.0
	民間会社勤務・現業	102	72.5	17.6	9.8	48.0	42.2	7.8	1.0	0.0	0.0	1.0
	民間会社勤務・管理職	61	82.0	8.2	9.8	65.6	27.9	4.9	0.0	0.0	0.0	1.6
	医師・弁護士などの専門職	47	80.9	14.9	4.3	48.9	34.0	10.6	0.0	0.0	4.3	2.1
	その他の有業者	87	75.9	11.5	12.6	55.2	37.9	4.6	2.3	0.0	0.0	0.0
	学生	16	75.0	18.8	6.3	50.0	12.5	12.5	6.3	18.8	0.0	0.0
	無職(学生以外の無職)	410	72.0	10.5	17.6	63.4	27.8	4.9	1.2	0.0	1.2	1.5
	無回答	74	40.5	10.8	48.6	45.9	24.3	12.2	0.0	1.4	0.0	16.2

市議会議員選挙の投票状況(Q5)

これまでの投票状況(Q24)

		回収数	投票した	投票しなかった	無回答	かならず投票している	だいたい投票している	あまり投票していない	投票したことがない	なっ 今回 はじ めて 有権 者に	答え たく ない	無回答
全体		1128	73.5	11.3	15.2	57.6	31.3	6.2	1.1	0.7	0.9	2.2
居住形態別	持ち家(一戸建)	639	76.8	9.7	13.5	63.1	28.8	4.9	0.8	0.6	0.8	1.1
	持ち家(マンション等)	171	71.3	14.6	14.0	49.1	36.8	8.8	1.2	1.2	1.2	1.8
	賃貸(公営、公団等)	76	75.0	14.5	10.5	56.6	28.9	6.6	2.6	1.3	1.3	2.6
	賃貸(民間)	148	73.0	13.5	13.5	52.7	36.5	7.4	2.0	0.0	0.7	0.7
	社宅・寮等	11	100.0	0.0	0.0	27.3	63.6	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	10	90.0	10.0	0.0	40.0	50.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0
	無回答	73	42.5	11.0	46.6	47.9	24.7	9.6	0.0	1.4	0.0	16.4
居住期間別	生まれてからずっと住んでいる	419	75.4	11.0	13.6	58.0	32.5	5.0	1.2	1.0	1.2	1.2
	10年以上、住んでいる	534	76.4	9.9	13.7	62.0	29.8	4.5	0.9	0.6	0.7	1.5
	5年以上10年未満、住んでいる	51	72.5	15.7	11.8	39.2	47.1	13.7	0.0	0.0	0.0	0.0
	3年以上5年未満、住んでいる	32	71.9	18.8	9.4	46.9	31.3	15.6	3.1	0.0	3.1	0.0
	3年未満、住んでいる	25	76.0	24.0	0.0	44.0	28.0	24.0	4.0	0.0	0.0	0.0
	無回答	67	38.8	11.9	49.3	44.8	25.4	10.4	0.0	1.5	0.0	17.9
大阪への愛着度別	非常に愛着をもっている	600	77.5	9.0	13.5	64.7	28.0	4.0	1.3	0.3	0.7	1.0
	ある程度愛着をもっている	383	75.2	13.6	11.2	51.4	37.3	7.6	0.8	0.5	1.3	1.0
	どちらともいえない	53	67.9	17.0	15.1	49.1	32.1	9.4	0.0	3.8	1.9	3.8
	あまり愛着をもっていない	19	47.4	21.1	31.6	31.6	36.8	26.3	0.0	0.0	0.0	5.3
	まったく愛着をもっていない	6	83.3	16.7	0.0	50.0	16.7	0.0	16.7	16.7	0.0	0.0
	無回答	67	38.8	10.4	50.7	44.8	25.4	10.4	0.0	1.5	0.0	17.9

- ・年齢との関係では、前回同様、20代の投票率が低い。今回より、18歳、19歳からも回答をいただいたが、回答数が少なく評価は難しい。職業に関しては、前回と比較すると、公務員・教員、民間会社勤務(事務・管理職)で高く、学生以外の無職の減少が見られる。
- ・前回は大阪市に10年以上住んでいる人の投票率は明らかに高く、逆に5年未満の人では、著しく低かったが、今回は居住期間にかかわらず70%台となっている。
- ・過去の投票履歴では「かならず投票する」という人は、年齢が高くなるにつれて増えていく。また、職業に関しては管理職が最も高く、自営業主およびその家族やその他の有業者も多い。居住年数10年以上のグループで多い。
- ・大阪への愛着がある人ほど、投票に行く傾向がある。今回まったく愛着をもっていない人で投票した比率が高いが、母数が少ないため評価が難しい。
- ・相対的に「あまり投票していない」のは、職業別では、学生や医師・弁護士などの専門職で、「投票したことがない」人が多いのも学生である。
- ・居住年数が短くなる(5年未満)と、「あまり投票していない」人や「投票したことがない」人が多くなる。

(3) 心理的要因からみた投票参加

市議会議員選挙の投票状況(Q5)

		回収数	投票した	投票しなかった	無回答
全体		1128	73.5	11.3	15.2
投票義務感別	投票は国民の義務である	491	80.2	5.1	14.7
	投票は国民の権利である	401	73.1	12.2	14.7
	投票する・しないは個人の自由	169	64.5	21.3	14.2
	なんともいえない	39	46.2	30.8	23.1
	無回答	28	53.6	17.9	28.6
現在の政治の満足度別	十分満足している	11	63.6	18.2	18.2
	だいたい満足している	282	78.4	8.9	12.8
	やや不満足である	442	74.0	10.4	15.6
	全く不満足である	253	76.7	11.9	11.5
	どちらともいえない	112	58.9	17.0	24.1
	無回答	28	50.0	17.9	32.1
支持政党の有無別	ある	485	82.5	6.0	11.5
	ない	528	70.6	16.9	12.5
	無回答	115	48.7	7.8	43.4
政党支持の程度別	強く支持している	100	80.0	7.0	13.0
	それほどでもない	385	81.8	4.7	13.5
	無回答	643	67.5	15.9	16.6
投票が地方政治に反映するかどうか意識別	そう思う	230	75.2	5.7	19.1
	どちらかといえばそう思う	479	79.7	8.6	11.7
	どちらかといえばそう思わない	199	68.3	17.1	14.6
	そう思わない	96	63.5	21.9	14.6
	わからない	95	61.1	14.7	24.2
	無回答	29	65.5	13.8	20.7

市議選への関心度(Q4)

非常に 関心を持 った	多少は 関心を持 った	あまり 関心を持 たなかつ た	全く 関心を持 たなか った	どちら ともい えない	無 回 答
33.5	40.4	15.2	3.2	3.6	4.1
35.8	43.2	11.8	2.4	3.3	3.5
37.9	40.1	14.0	1.2	2.7	4.0
21.9	34.9	24.3	8.3	6.5	4.1
20.5	38.5	20.5	12.8	5.1	2.6
17.9	32.1	28.6	0.0	3.6	17.9
45.5	36.4	0.0	9.1	0.0	9.1
39.0	44.7	8.9	1.1	1.8	4.6
32.8	44.1	15.4	2.3	2.5	2.9
39.1	34.0	14.2	5.5	4.0	3.2
13.4	32.1	28.6	7.1	13.4	5.4
14.3	32.1	35.7	0.0	0.0	17.9
49.5	37.3	8.9	1.0	1.9	1.4
20.5	44.7	21.4	5.7	5.1	2.7
26.1	33.9	13.0	0.9	4.3	21.7
35.0	45.0	16.0	1.0	1.0	2.0
53.2	37.1	6.5	0.8	1.6	0.8
21.5	41.7	20.2	5.0	5.3	6.4
59.1	31.3	3.5	1.7	0.9	3.5
34.9	47.6	10.9	0.8	2.7	3.1
14.6	43.7	30.2	3.5	3.5	4.5
20.8	32.3	22.9	16.7	4.2	3.1
17.9	33.7	25.3	4.2	13.7	5.3
31.0	20.7	17.2	3.4	6.9	20.7

市議会議員選挙の投票状況(Q5)

		回収数	投票した	投票しなかった	無回答
全体		1128	73.5	11.3	15.2
支持している政党・候補者に勝機がないとき、投票しても無駄であるという意識別	そう思う	77	62.3	19.5	18.2
	どちらかといえばそう思う	150	70.0	14.0	16.0
	どちらかといえばそう思わない	168	75.6	11.3	13.1
	そう思わない	637	78.5	8.2	13.3
	わからない	67	50.7	20.9	28.4
	無回答	29	51.7	20.7	27.6
自分一人ぐらい投票しなくてもよいという意識別	そう思う	18	44.4	44.4	11.1
	どちらかといえばそう思う	91	53.8	34.1	12.1
	どちらかといえばそう思わない	152	70.4	16.4	13.2
	そう思わない	806	78.4	6.2	15.4
	わからない	34	52.9	20.6	26.5
	無回答	27	55.6	22.2	22.2

市議選への関心度(Q4)

非常に関心を持った	多少は関心を持った	あまり関心を持たなかった	全く関心を持たなかった	どちらともいえない	無回答
33.5	40.4	15.2	3.2	3.6	4.1
27.3	36.4	16.9	9.1	3.9	6.5
13.3	53.3	23.3	2.7	2.0	5.3
28.6	45.2	20.2	1.8	2.4	1.8
42.4	39.2	10.5	1.7	3.0	3.1
14.9	23.9	26.9	14.9	11.9	7.5
31.0	20.7	13.8	3.4	13.8	17.2
16.7	27.8	27.8	22.2	0.0	5.6
9.9	42.9	34.1	4.4	4.4	4.4
19.1	46.7	22.4	3.3	3.3	5.3
40.2	40.6	10.8	2.4	3.0	3.1
14.7	23.5	26.5	8.8	17.6	8.8
29.6	22.2	18.5	3.7	7.4	18.5

- ・投票を義務と考える人の投票率は高く、権利と捉える人がこれに続く。
- ・投票した人は「支持している政党・候補者に勝機がないとき、投票しても無駄である」あるいは「自分一人ぐらい投票しなくてもよい」という意見に賛成しない傾向がある。
- ・支持政党を持つ人ほど投票しているが、支持の程度による差はなくなっている。

これまでの投票状況(Q24)

		回収数	かならず投票している	だいたい投票している	あまり投票していない	投票したことがない	今回はじめて有権者になった	答えたくない	無回答
全体		1128	57.6	31.3	6.2	1.1	0.7	0.9	2.2
投票義務感別	投票は国民の義務である	491	70.9	26.3	1.6	0.0	0.8	0.4	0.0
	投票は国民の権利である	401	59.6	33.9	4.5	1.2	0.7	0.0	0.0
	投票する・しないは個人の自由	169	30.2	44.4	18.9	3.6	0.6	1.8	0.6
	なんともいえない	39	23.1	33.3	28.2	2.6	0.0	12.8	0.0
	無回答	28	10.7	0.0	3.6	0.0	0.0	0.0	85.7
現在の政治の満足度	十分満足している	11	45.5	36.4	9.1	0.0	0.0	9.1	0.0
	だいたい満足している	282	68.8	24.1	4.3	1.1	1.1	0.4	0.4
	やや不満足である	442	56.3	34.8	6.6	0.9	0.7	0.7	0.0
	全く不満足である	253	60.9	31.6	5.9	1.2	0.0	0.4	0.0
	どちらともいえない	112	41.1	41.1	11.6	1.8	1.8	2.7	0.0
	無回答	28	7.1	3.6	0.0	0.0	0.0	3.6	85.7
の支持有無別	ある	485	69.3	25.6	2.5	0.6	0.6	0.4	1.0
	ない	528	47.0	38.1	9.7	1.5	0.9	1.5	1.3
	無回答	115	57.4	24.3	6.1	0.9	0.0	0.0	11.3
の政程度別	強く支持している(51以上)	100	67.0	27.0	3.0	2.0	1.0	0.0	0.0
	それほどでもない(50以下)	385	70.1	25.5	2.1	0.3	0.5	0.3	1.3
	無回答	643	48.7	35.5	9.2	1.4	0.8	1.4	3.1
投票するがと地いう政治意識に別反	そう思う	230	71.3	24.8	1.7	0.4	0.9	0.4	0.4
	どちらかといえばそう思う	479	58.5	33.6	4.0	0.8	0.6	1.3	1.3
	どちらかといえばそう思わない	199	53.3	31.2	12.1	0.5	0.5	0.5	2.0
	そう思わない	96	43.8	37.5	10.4	4.2	2.1	0.0	2.1
	わからない	95	51.6	32.6	11.6	1.1	0.0	2.1	1.1
	無回答	29	31.0	20.7	6.9	3.4	0.0	0.0	37.9

これまでの投票状況(Q24)

		回収数	かならず投票している	だいたい投票している	あまり投票していない	投票したことがない	今回はじめて有権者になった	答えたくない	無回答
全体		1128	57.6	31.3	6.2	1.1	0.7	0.9	2.2
無勝敗 支持 機 持 て な い と い う 政 党 ・ 党 意 識 別 し て も な い	そう思う	77	57.1	27.3	11.7	1.3	0.0	1.3	1.3
	どちらかといえばそう思う	150	46.7	39.3	10.0	1.3	0.7	0.7	1.3
	どちらかといえばそう思わない	168	53.6	37.5	4.8	0.6	1.2	1.2	1.2
	そう思わない	637	64.7	27.9	3.8	0.9	0.6	0.6	1.4
	わからない	67	37.3	41.8	14.9	1.5	1.5	3.0	0.0
	無回答	29	31.0	13.8	13.8	3.4	0.0	0.0	37.9
も自 分一 人ぐ らい 意 識 別 し な く て	そう思う	18	16.7	27.8	33.3	5.6	0.0	11.1	5.6
	どちらかといえばそう思う	91	26.4	39.6	26.4	5.5	1.1	1.1	0.0
	どちらかといえばそう思わない	152	36.8	47.4	9.9	1.3	2.0	1.3	1.3
	そう思わない	806	68.4	26.9	2.2	0.4	0.5	0.5	1.1
	わからない	34	23.5	55.9	11.8	0.0	0.0	2.9	5.9
	無回答	27	29.6	14.8	11.1	3.7	0.0	0.0	40.7

- ・義務感の強い人（次いで権利意識のある人）、支持政党を持つ人ほど、よく投票をしている。過去の投票履歴から見てもほぼ同じ傾向がみられる。同様に投票が地方政治に反映されるという意識が強いほど、また、自分一人ぐらい投票しなくてもよいという意識が弱いほど、よく投票している。

(4) 組織加入からみた投票参加

市議会議員選挙の投票状況(Q5)

		回収数	投票した	投票しなかった	無回答
全体		1128	73.5	11.3	15.2
後援会加入状況別	会員になっている	43	79.1	4.7	16.3
	会員になっていない	905	77.9	10.8	11.3
	無回答	180	50.0	15.0	35.0

市議選への関心度(Q4)

		回収数	非常に関心を持った	多少は関心を持った	あまり関心を持たなかった	全く関心を持たなかった	どちらともいえない	無回答
全体		1128	33.5	40.4	15.2	3.2	3.6	4.1
後援会加入状況別	会員になっている	43	55.8	32.6	4.7	2.3	2.3	2.3
	会員になっていない	905	34.5	41.9	15.2	2.8	3.4	2.2
	無回答	180	23.3	35.0	17.2	5.6	5.0	13.9

これまでの投票状況(Q24)

		回収数	かならず投票している	だいたい投票している	あまり投票していない	投票したことがない	今回はじめて有権者になった	答えたくない	無回答
全体		1128	57.6	31.3	6.2	1.1	0.7	0.9	2.2
後援会加入状況別	会員になっている	43	83.7	14.0	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	会員になっていない	905	57.8	32.5	5.6	1.1	0.9	0.9	1.2
	無回答	180	50.6	29.4	10.0	1.1	0.0	1.1	7.8

- ・後援会の加入者数は前回よりも減ってきており、加入していると申告した人は、全体から見ると4%未満であり、今回選挙に投票した割合も後援会加入有無で差はなくなっている。これまでの履歴という点から見れば、後援会の加入者がよく投票している。市議会議員選挙への関心という点でも、その関心度は非加入者に比べ明確に高い。

(5) 情報環境からみた投票参加

市議会議員選挙の投票状況(Q5)

		回収数	投票した	投票しなかった	無回答
全体		1128	73.5	11.3	15.2
候補者決定の判断材料の充足度別	十分だった	157	80.3	0.6	19.1
	まあまあだった	445	81.6	6.5	11.9
	多少、不足だった	229	78.2	9.6	12.2
	不足だった	136	72.1	17.6	10.3
	わからない	104	46.2	37.5	16.3
	無回答	57	26.3	21.1	52.6

市議選への関心度(Q4)

		回収数	非常に関心を持った	多少は関心を持った	あまり関心を持たなかった	全く関心を持たなかった	どちらともいえない	無回答
全体		1128	33.5	40.4	15.2	3.2	3.6	4.1
候補者決定の判断材料の充足度別	十分だった	157	70.7	21.0	3.8	0.6	1.9	1.9
	まあまあだった	445	40.2	47.0	8.3	0.9	1.6	2.0
	多少、不足だった	229	22.3	50.2	19.2	2.2	3.1	3.1
	不足だった	136	18.4	41.2	25.0	7.4	5.1	2.9
	わからない	104	5.8	26.9	38.5	15.4	12.5	1.0
	無回答	57	10.5	26.3	17.5	0.0	7.0	38.6

これまでの投票状況(Q24)

		回収数	かならず投票している	だいたい投票している	あまり投票していない	投票したことがない	今回はじめて有権者になった	答えたくない	無回答
全体		1128	57.6	31.3	6.2	1.1	0.7	0.9	2.2
候補者決定の判断材料の充足度別	十分だった	157	76.4	20.4	1.3	0.0	0.0	0.0	1.9
	まあまあだった	445	61.8	31.0	4.9	0.4	0.7	0.4	0.7
	多少、不足だった	229	56.8	36.7	4.8	0.0	0.9	0.9	0.0
	不足だった	136	50.0	35.3	9.6	1.5	0.7	1.5	1.5
	わからない	104	32.7	35.6	16.3	7.7	1.9	3.8	1.9
	無回答	57	40.4	24.6	8.8	0.0	0.0	0.0	26.3

- ・一般に、情報量が多いほど投票に行く傾向があり、今回選挙にもあてはまる。今回の市議選への関心についても同様のことが言える。情報量が多い（十分である）ほど関心も高く、逆に情報に不足を感じる人は関心も低い。今回選挙で情報量が多いと評価する人ほど、過去の投票実績においても、よく投票してきた。
- ・ここでの情報量の多少は、有権者の主観的な評価である。情報を多く持つ人は、そもそも普段から関心を持って政治にコミットすると考えられる。これに対し、情報が不足していると感じる人は、今回に限らず政治的関心が低く、特に情報を収集することもないまま、投票日に判断を迫られている可能性が高い。

(6) 投票者の行動と考え方

候補者決定の時期(Q9)

		投票した人	選挙期間に入る前から決めていた	選挙期間の初めごろに決めた	選挙期間のころに決めた	選挙期間の終わりに決めた	投票当日に決めた	おぼえていない	無回答
全体		829	42.8	16.6	10.3	13.0	13.9	2.2	1.2
市議選への関心度	非常に関心を持った	316	60.8	18.0	6.6	8.2	4.7	0.6	0.9
	多少は関心を持った	353	37.4	18.7	12.2	15.3	13.9	1.4	1.1
	あまり関心を持たなかった	112	17.9	8.0	14.3	17.0	34.8	7.1	0.9
	全く関心を持たなかった	15	40.0	0.0	0.0	26.7	33.3	0.0	0.0
	どちらともいえない	25	20.0	16.0	4.0	16.0	28.0	12.0	4.0
	無回答	8	0.0	25.0	50.0	12.5	0.0	0.0	12.5
投票義務感別	投票は国民の義務である	394	45.9	14.2	9.1	14.7	12.9	1.8	1.3
	投票は国民の権利である	293	42.3	21.5	11.3	11.9	11.9	0.3	0.7
	投票する・しないは個人の自由	109	35.8	12.8	11.0	11.0	22.9	6.4	0.0
	なんともいえない	18	33.3	11.1	11.1	11.1	11.1	16.7	5.6
	無回答	15	33.3	20.0	13.3	6.7	13.3	0.0	13.3
の支持有無別	ある	400	59.8	17.0	8.0	7.3	6.5	1.3	0.3
	ない	373	25.2	15.5	11.3	20.6	22.5	3.5	1.3
	無回答	56	39.3	21.4	19.6	3.6	8.9	0.0	7.1

- ・投票先の決定時期についてみると、選挙への関心度や投票義務感、政党支持などにおいて、選挙によく参加する層(選挙への関心が高く、投票を義務と考え、支持政党を有する)ほど、投票先の決定時期が早い。選挙に対するスタンスが決まっていることが高い投票参加につながっている。
- ・これに対し、関心の低い層では、投票した人でも決定時期が遅く、安定的な投票者とはいえない。

投票の理由(Q8)

		投票した人	どうしても当選させたい候補者がいたから	もりたてたい政党があるから	今の政治は良くないので改めたいと思うから	政治を良くするには投票することが大切だから	投票するのは市民の義務だから	地方自治は、自分たちの代表を選ぶことからじまるから	団体・組織、知り合いなどからたのまれたから	その他	無回答
全体		829	20.7	26.5	21.5	62.1	62.2	40.3	3.3	3.3	0.2
の支持 有無 別党	ある	400	31.0	44.8	20.5	67.3	65.3	48.3	2.5	3.5	0.0
	ない	373	9.4	7.8	22.5	54.4	60.3	32.2	3.5	3.2	0.3
	無回答	56	23.2	21.4	21.4	76.8	53.6	37.5	7.1	1.8	1.8
入後 状況 別加	会員になっている	34	44.1	35.3	23.5	67.6	76.5	55.9	8.8	5.9	0.0
	会員になっていない	705	20.6	27.8	20.6	62.3	62.4	40.9	3.3	3.1	0.0
	無回答	90	13.3	13.3	27.8	58.9	55.6	30.0	1.1	3.3	2.2

- ・投票理由で全般的に多く挙げられているのは、投票の重要性や義務である。
- ・投票理由を政党支持の有無や後援会加入から見ると、政党支持を強く持っている人は、他の人と比べ、より候補者や政党への支援を理由に挙げる。これらの人は、政党や後援会との結びつきに基づき投票する積極的な動機を有している。逆に、政党支持がない人は、これらの特定の党や候補者を応援するというよりは、改革志向や義務感によって動かされている。後援会については、候補者や政党への支援についても、加入の有無で、差が小さくなってきている。

(7) 棄権者の行動と考え方

Q5=A2 (投票しなかった) に限って

棄権の理由(Q6)

		棄権した人	用事があつたから (忙しかったから)	病気だったから	面倒だったから	今回の市議会議員の選挙には関心がないから	もともと選挙というものに関心がないから	候補者の政策や人物などがよくわからないから	支持する候補者がいなかったから	支持する政党の候補者がいなかったから	支持する政党がないから	一人ぐらい投票してもしなくても、結果は同じだから	選挙によっては、政治がよくなるから と思うから	その他	無回答
全体		127	21.3	18.1	3.9	3.9	4.7	6.3	7.1	0.8	3.1	3.9	2.4	16.5	7.9
市議選への関心度別	非常に関心を持った	14	21.4	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	35.7	7.1
	多少は関心を持った	46	19.6	26.1	0.0	0.0	2.2	8.7	4.3	0.0	2.2	4.3	4.3	19.6	8.7
	あまり関心を持たなかった	36	27.8	8.3	8.3	2.8	8.3	0.0	11.1	2.8	5.6	2.8	0.0	11.1	11.1
	全く関心を持たなかった	19	10.5	10.5	5.3	21.1	10.5	10.5	5.3	0.0	0.0	10.5	5.3	5.3	5.3
	どちらともいえない	9	33.3	0.0	11.1	0.0	0.0	22.2	11.1	0.0	11.1	0.0	0.0	11.1	0.0
	無回答	3	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0
これまでの投票状況別	かならず投票している	15	13.3	26.7	0.0	6.7	0.0	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0	6.7
	だいたい投票している	50	20.0	26.0	0.0	6.0	0.0	8.0	8.0	0.0	4.0	2.0	2.0	14.0	10.0
	あまり投票していない	43	27.9	14.0	2.3	2.3	9.3	7.0	9.3	2.3	4.7	4.7	0.0	9.3	7.0
	投票したことがない	9	22.2	0.0	11.1	0.0	22.2	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	11.1	22.2	0.0
	今回はじめて有権者になった	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	答えたくない	4	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	25.0	0.0
	無回答	5	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0

棄権の理由(Q6)

		棄権した人	用事があったから（忙しかったから）	病気だったから	面倒だったから	今回の市議会議員の選挙には関心がないから	もともと選挙というものに関心がないから	候補者の政策や人物などがよくわからないから	支持する候補者がいなかったから	支持する政党の候補者がいなかったから	支持する政党がないから	一人ぐらい投票してもしなくても、結果は同じだから	選挙によっては、政治がよくなると思うから	その他	無回答
全体		127	21.3	18.1	3.9	3.9	4.7	6.3	7.1	0.8	3.1	3.9	2.4	16.5	7.9
投票が 意識別 地方政治に 反映すると	そう思う	13	30.8	38.5	0.0	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0	7.7	7.7	7.7
	どちらかといえば そう思う	41	24.4	24.4	2.4	0.0	2.4	9.8	2.4	0.0	2.4	2.4	2.4	19.5	7.3
	どちらかといえば そう思わない	34	20.6	8.8	8.8	11.8	2.9	0.0	14.7	2.9	2.9	5.9	0.0	14.7	5.9
	そう思わない	21	14.3	9.5	4.8	0.0	19.0	9.5	0.0	0.0	4.8	4.8	4.8	23.8	4.8
	わからない	14	14.3	21.4	0.0	7.1	0.0	7.1	7.1	0.0	7.1	7.1	0.0	14.3	14.3
	無回答	4	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0

- ・棄権者に限って棄権の理由をたずね、他の要因との関連を調べたところ、いくつかのグループが存在する。一つは、今回の選挙に関心を持ち、あるいは、投票が地方政治に反映すると考え、これまでもよく投票をしてきたグループで、今回は用事があったり病気であったりしたため棄権した人たちである。ただ、このグループでも、候補者についての情報が不足したり、目当ての候補が見つからないという場合は棄権することがある。
- ・他方、今回の選挙にも関心を持たず、投票が地方政治に反映すると思わない人たちは、選挙をしても政治が良くならない、今回の市議選に関心がない、もともと選挙に関心がない、支持する候補がいない、候補の情報が不足など、さまざまな理由を挙げている。

3-2.心理的要因

(1) 投票義務感

投票義務感(Q25)

		回収数	投票すること は国民の義務 である	投票することは 国民の権利 ではない	投票する・しないは 個人の自由である	なんとも いえない	無回答
全体		1128	43.5	35.5	15.0	3.5	2.5
年齢別	18歳	3	66.7	0.0	33.3	0.0	0.0
	19歳	3	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0
	20~24歳	21	28.6	42.9	19.0	9.5	0.0
	25~29歳	19	52.6	15.8	21.1	10.5	0.0
	30~39歳	81	33.3	34.6	29.6	1.2	1.2
	40~49歳	132	42.4	36.4	16.7	3.8	0.8
	50~59歳	181	37.6	39.8	16.0	5.0	1.7
	60~69歳	248	41.5	39.5	14.9	2.4	1.6
	70歳以上	410	51.0	33.4	10.2	3.2	2.2
	無回答	30	26.7	16.7	20.0	3.3	33.3
現在の政治の満足度別	十分満足している	11	54.5	18.2	9.1	18.2	0.0
	だいたい満足している	282	51.1	35.1	12.8	1.1	0.0
	やや不満足である	442	43.4	40.5	12.9	2.9	0.2
	全く不満足である	253	39.1	37.5	18.2	4.7	0.4
	どちらともいえない	112	43.8	22.3	24.1	8.0	1.8
	無回答	28	3.6	3.6	7.1	0.0	85.7
の支持無党別	ある	485	46.2	38.8	10.9	2.9	1.2
	ない	528	41.7	34.1	18.8	4.0	1.5
	無回答	115	40.9	28.7	14.8	3.5	12.2
自分の生活と関係と地方自治の生活	自分の生活は、地方政治と密接に結びついていると思う	116	37.9	50.0	8.6	2.6	0.9
	自分の生活は、ある程度は地方政治と結びついていると思う	528	45.1	36.4	14.0	3.4	1.1
	自分の生活と地方の政治とは、あまり関係がないと思う	371	43.9	34.2	16.7	3.0	2.2
	自分の生活と地方の政治とは、まったく関係がないと思う	75	42.7	26.7	22.7	8.0	0.0
	無回答	38	36.8	10.5	15.8	2.6	34.2
地方政治への関心度別	いつも注意を払っている	231	50.2	39.0	6.9	1.3	2.6
	時々注意を払っている	426	46.2	39.7	11.3	2.3	0.5
	たまに注意を払っている	356	40.2	31.5	20.5	5.9	2.0
	まったく注意していない	59	22.0	28.8	39.0	6.8	3.4
	無回答	56	39.3	23.2	16.1	1.8	19.6

- ・年齢的には、70 歳以上に義務であると考えている人が多い。また、30・40 歳代は義務と権利で意見が分かれている。一方 20・30 歳代は、投票・棄権は個人の自由と考える人が他の年代より多い。
- ・棄権と結びつきやすい「個人の自由」グループは、政治的不満を持つ人、支持政党のない人、自分の生活と地方政治の関わりを感じられない人、地方政治に注意を払っていない人に多い(政治に満足している人、支持政党のある人、自分の生活と地方政治の関わりを感じている人、地方政治に注意を払っている人には少ない)。

(2) 政治満足度

政治満足度(Q26)

		回収数	十分満足して	満足している	やや不満で	全く不満で	どちらともいえない	無回答
全体		1128	1.0	25.0	39.2	22.4	9.9	2.5
年齢別	18歳	3	0.0	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0
	19歳	3	0.0	0.0	66.7	0.0	33.3	0.0
	20~24歳	21	0.0	28.6	33.3	19.0	19.0	0.0
	25~29歳	19	0.0	15.8	47.4	31.6	5.3	0.0
	30~39歳	81	1.2	23.5	42.0	19.8	12.3	1.2
	40~49歳	132	3.0	21.2	43.9	21.2	9.8	0.8
	50~59歳	181	0.6	20.4	44.2	24.3	8.8	1.7
	60~69歳	248	0.0	19.0	40.7	29.8	9.3	1.2
	70歳以上	410	1.2	33.4	33.9	18.8	10.2	2.4
	無回答	30	0.0	13.3	36.7	13.3	3.3	33.3
投票するがと地いう政治意識に別反映	そう思う	230	3.0	32.6	38.7	20.0	5.2	0.4
	どちらかといえばそう思う	479	0.8	30.7	44.3	16.3	6.3	1.7
	どちらかといえばそう思わない	199	0.0	15.6	44.7	26.1	11.6	2.0
	そう思わない	96	0.0	12.5	26.0	51.0	8.3	2.1
	わからない	95	0.0	14.7	24.2	20.0	38.9	2.1
	無回答	29	0.0	10.3	13.8	31.0	6.9	37.9

- ・棄権と結びつきやすい政治不満を持つ人は多く、回答者の 6 割以上にのぼり、25~29 歳、40~60 歳の層に不満が多くみられる。
- ・心理的には、地方政治と投票が反映しないと思う人ほど、不満は深く広まっている。

(3) 支持政党の有無および政党支持の程度

政党支持(Q28-1)

		回収数	ある	ない	無回答
全体		1128	43.0	46.8	10.2
年齢別	18歳	3	33.3	66.7	0.0
	19歳	3	0.0	100.0	0.0
	20~24歳	21	33.3	66.7	0.0
	25~29歳	19	31.6	57.9	10.5
	30~39歳	81	37.0	61.7	1.2
	40~49歳	132	36.4	62.1	1.5
	50~59歳	181	43.1	53.6	3.3
	60~69歳	248	47.6	46.0	6.5
	70歳以上	410	45.9	35.9	18.3
	無回答	30	30.0	26.7	43.3
職業別	自営業主およびその家族従事者	183	50.3	44.3	5.5
	公務員、教員	23	34.8	60.9	4.3
	民間会社勤務・事務	125	43.2	56.0	0.8
	民間会社勤務・現業	102	49.0	46.1	4.9
	民間会社勤務・管理職	61	65.6	34.4	0.0
	医師・弁護士などの専門職	47	42.6	51.1	6.4
	その他の有業者	87	47.1	43.7	9.2
	学生	16	25.0	75.0	0.0
	無職(学生以外の無職)	410	39.0	48.0	12.9
	無回答	74	21.6	32.4	45.9
投票義務感別	投票は国民の義務である	491	45.6	44.8	9.6
	投票は国民の権利である	401	46.9	44.9	8.2
	投票する・しないは個人の自由	169	31.4	58.6	10.1
	なんともいえない	39	35.9	53.8	10.3
	無回答	28	21.4	28.6	50.0
現在の政治の満足度別	十分満足している	11	54.5	27.3	18.2
	だいたい満足している	282	62.1	27.3	10.6
	やや不満足である	442	41.6	50.0	8.4
	全く不満足である	253	35.6	56.9	7.5
	どちらともいえない	112	22.3	67.9	9.8
	無回答	28	17.9	25.0	57.1

政党支持(Q28-1)

		回収数	ある	ない	無回答
全体		1128	43.0	46.8	10.2
入後 状援 況会 別加	会員になっている	43	83.7	9.3	7.0
	会員になっていない	905	47.7	47.0	5.3
	無回答	180	9.4	55.0	35.6
自分 の生 活と 地方 政治 の関 係と 別	自分の生活は、地方政治と密接に結びついていると思う	116	59.5	35.3	5.2
	自分の生活は、ある程度は地方政治と結びついていると思う	528	47.2	43.2	9.7
	自分の生活と地方の政治とは、あまり関係がないと思う	371	36.4	55.0	8.6
	自分の生活と地方の政治とは、まったく関係がないと思う	75	36.0	57.3	6.7
	無回答	38	13.2	31.6	55.3
投票 が地 方政 意に 識に 別反 映す	そう思う	230	61.7	30.9	7.4
	どちらかといえばそう思う	479	49.1	42.0	9.0
	どちらかといえばそう思わない	199	26.1	63.3	10.6
	そう思わない	96	21.9	74.0	4.2
	わからない	95	32.6	57.9	9.5
	無回答	29	13.8	13.8	72.4
地方 政治 への 関心 度	いつも注意を払っている	231	63.6	27.7	8.7
	時々注意を払っている	426	49.5	43.9	6.6
	たまに注意を払っている	356	30.3	61.5	8.1
	まったく注意していない	59	18.6	76.3	5.1
	無回答	56	14.3	23.2	62.5

- ・ 政党支持は政治の世界と人々を心理的に結びつける要である。年齢とともに支持政党を持つ人は増える傾向にある。職業では、民間会社の管理職の人に多く、学生・公務員に少ない。
- ・ 政党支持者は投票を義務・権利といった公的な性格を持つと考える。
- ・ 政党支持は後援会加入と強く結びつく。
- ・ また、政治不満の少ない人、自分の生活と地方政治の関係を感じている人、投票が地方政治に反映されると思う(有効性を感じる)人、地方政治に関心を払う人ほど、政党支持を持つ可能性が高い。表は割愛するが、この傾向は、政党支持の程度（強弱）にも当てはまり、強い政党支持を持つ人に関して、一層顕著である。

(4) 投票が地方政治に反映するという意識(有効性感覚)

投票と地方政治(Q32-1)

		回収数	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそうわない	そう思わない	わからない	無回答
全体		1128	20.4	42.5	17.6	8.5	8.4	2.6
年齢別	18歳	3	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0
	19歳	3	0.0	66.7	0.0	33.3	0.0	0.0
	20~24歳	21	14.3	38.1	23.8	9.5	14.3	0.0
	25~29歳	19	31.6	42.1	5.3	10.5	5.3	5.3
	30~39歳	81	18.5	48.1	21.0	8.6	3.7	0.0
	40~49歳	132	18.2	42.4	23.5	9.8	5.3	0.8
	50~59歳	181	17.7	43.1	18.8	8.3	10.5	1.7
	60~69歳	248	21.8	42.3	16.1	10.9	8.5	0.4
	70歳以上	410	22.4	42.2	17.3	5.9	9.3	2.9
	無回答	30	10.0	30.0	0.0	16.7	6.7	36.7
職業別	自営業主およびその家族従事者	183	26.2	43.2	18.0	6.0	4.9	1.6
	公務員、教員	23	21.7	39.1	21.7	17.4	0.0	0.0
	民間会社勤務・事務	125	21.6	39.2	20.0	14.4	4.0	0.8
	民間会社勤務・現業	102	19.6	40.2	14.7	13.7	11.8	0.0
	民間会社勤務・管理職	61	14.8	59.0	16.4	6.6	3.3	0.0
	医師・弁護士などの専門職	47	25.5	46.8	17.0	2.1	6.4	2.1
	その他の有業者	87	14.9	44.8	17.2	5.7	14.9	2.3
	学生	16	18.8	43.8	25.0	12.5	0.0	0.0
	無職(学生以外の無職)	410	20.0	41.0	18.8	7.6	10.5	2.2
	無回答	74	14.9	39.2	9.5	8.1	10.8	17.6
入後 状況 別加	会員になっている	43	25.6	53.5	11.6	4.7	4.7	0.0
	会員になっていない	905	21.1	43.8	17.6	8.2	8.6	0.8
	無回答	180	15.6	33.3	19.4	11.1	8.3	12.2

投票と地方政治(Q32-1)

		回収数	そう思う	そう 思う か とい え ば	そう 思 わ な い え ば	そう 思 わ な い	わ か ら な い	無 回 答
全体		1128	20.4	42.5	17.6	8.5	8.4	2.6
自 分 の 生 活 と 関 係 と 地 方 政 治	自分の生活は、地方政治と密接に結びついていると思う	116	50.9	28.4	11.2	7.8	1.7	0.0
	自分の生活は、ある程度は地方政治と結びついていると思う	528	21.4	54.4	13.8	3.4	6.4	0.6
	自分の生活と地方の政治とは、あまり関係がないと思う	371	11.6	36.9	27.5	11.6	12.4	0.0
	自分の生活と地方の政治とは、まったく関係がないと思う	75	18.7	20.0	14.7	33.3	12.0	1.3
	無回答	38	2.6	18.4	0.0	2.6	10.5	65.8
地 方 政 治 へ の 関 心 度 別	いつも注意を払っている	231	40.3	39.4	8.2	7.4	3.0	1.7
	時々注意を払っている	426	20.0	50.2	16.4	5.6	6.6	1.2
	たまに注意を払っている	356	10.7	40.2	25.0	10.7	11.8	1.7
	まったく注意していない	59	13.6	23.7	23.7	22.0	15.3	1.7
	無回答	56	10.7	30.4	12.5	7.1	16.1	23.2

- ・投票が地方政治に反映するという意識(有効性感覚)は、加齢によりゆるやかに強化される。職業的には、自営業主や専門職が強く持つのに対し、民間の管理職や現業従事者は弱い。政党支持や後援会加入により、有効性感覚は促進される。
- ・逆に、政治に対する不満の強い人、地方政治に距離を感じる人、地方政治に関心を払わない人は、自分たちの投票が政治に反映されていないと感じている。

(5) 関心を持つ選挙

いちばん関心をもつ選挙(Q23)

		回収数	衆議院議員選挙	参議院議員選挙	知事選挙	府議会議員選挙	市長選挙	市議会議員選挙	とくに 関心をも っている 選挙はな い	無回答
全体		1128	32.0	1.7	12.7	1.0	21.5	6.6	21.3	3.2
性別	男性	551	43.9	1.8	11.3	1.1	18.3	6.0	15.1	2.5
	女性	543	20.6	1.7	14.0	0.7	25.4	7.4	28.0	2.2
	無回答	34	20.6	0.0	14.7	2.9	11.8	5.9	14.7	29.4
の支持 有持 無政 別党	ある	485	40.4	2.9	14.0	0.6	21.9	8.2	10.1	1.9
	ない	528	26.7	0.8	11.7	0.9	21.6	4.4	32.2	1.7
	無回答	115	20.9	0.9	11.3	2.6	20.0	10.4	18.3	15.7
入後 状援 況会 別加	会員になっている	43	39.5	0.0	7.0	0.0	16.3	27.9	7.0	2.3
	会員になっていない	905	32.8	2.1	13.4	1.0	22.0	5.6	21.1	2.0
	無回答	180	26.1	0.0	10.6	1.1	20.6	6.7	25.6	9.4

- ・男性は衆議院選挙を重視している人が多いが、女性では市長選挙を重視する人、特に意識しない人が比較的多く、ほぼ同じ程度いる。
- ・支持政党のある人は政党間の競争である衆議院選挙に関心を向け、後援会加入者は候補者の戦いである市議会議員選挙に注目する傾向が前回に引き続き見られた。